平成１７年２月発行

昭和新道ニュース 第4号

※長曽根銀座河原線は、「昭和新道」の都市計画道路としての呼び名です。

道路整備を推進することを確認しました。

長曽根銀座河原線整備検討協議会とワークショップの流れ

長曽根銀座河原線整備検討協議会 （道路整備の方針を決める場）

第１回 H.16.9.15
協議会の目的と進め方について協議しました。

第２回 H.16.10.27
道路の今の状況・課題について協議しました。

第３回 H.16.11.24
道路整備のイメージについて協議しました。

第４回 H.17.2.9
整備方針、今後の事業の進め方について協議しました。

住民アンケート

長曽根銀座河原線整備検討ワークショップ （道路整備の方針案をつくり、協議会へ提案する場）

第１回 H.16.9.25
ワークショップの位置づけと進め方について理解しました。

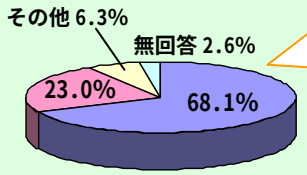
第２回 H.16.10.17
道路の今の状況を確認しました。（現地調査）

第３回 H.16.11.7
どんな道にするかアイデアを出しました。

第４回 H.16.12.19
第３回協議会をうけて再度どんな道にするか話し合いました。

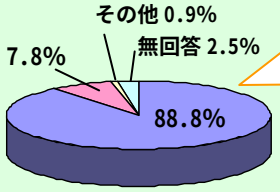
住民アンケートの結果のまとめ

協議会とワークショップの検討結果をもとに、都市計画道路長曽根銀座河原線について周辺住民の方のご意見をお伺いするためにアンケートを実施しました。

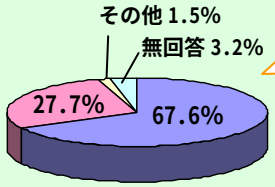


★**約7割が「道路を全面的に改良した方がよい」**と回答
★**約2割が「現状のままでよい」**と回答

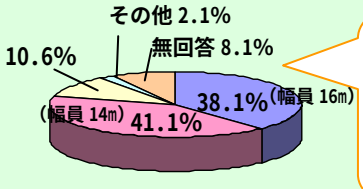
「道路改良した方がよい」と思う理由
「危険である」が約７割、「排水が悪い」が約２割
「現状のままでよい」と思う理由
「現状で問題ない」、「整備すれば交通量が増えるのでよくない」　など



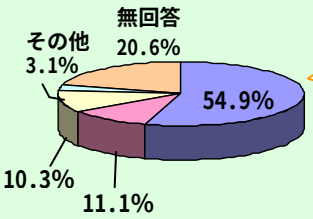
★「道路を全面的に改良した方がいい」と回答した人の**約９割が「自転車歩行者道は両側にあった方がよい」**と回答



★「道路を全面的に改良した方がいい」と回答した人の内、自転車歩行者道について、**約7割が「幅員3m 以上」**と回答、**約3割が「幅員2m」**と回答



★「道路を全面的に改良した方がいい」と回答した人の**約４割が「幅員 16m」、「幅員 14m」**と回答、**約1割が「幅員12m」**と回答



★今後の進め方については、**約５割が「ワークショップ・協議会を継続」**と回答、**約１割が、「ワークショップを中心に」、「協議会を中心に」**と回答

今回のアンケートは、平成１６年１２月下旬～平成１７年１月上旬にかけて実施し、長曽根銀座河原線周辺住民のみなさんへ配布した 1,308 通の内、７７５通の回答がありました。ご協力ありがとうございました。
なお、詳しいアンケート集計結果は、後日、周辺住民のみなさんに配布させていただく予定です。

平成 17 年 2 月 9 日に開催された第 4 回「長曽根銀座河原線整備検討協議会」では、これまでの協議会とワークショップの意見やアンケート結果を踏まえ、道路整備に対する方針をまとめました。

項　目		協議会としての方針のまとめ
道路整備	**事業の取組みについて**	これまで様々な意見が出てきましたが、アンケートでも約 7 割が「道路を全面的に改良する方がよい」と回答されており、道路を全面的に改良する方向で事業を推進します。
	道路幅員	今の段階で決定することはできませんが、14m～16mの間で今後検討していきます。
	道路線形（ルート）	**＜長曽根地区について＞** 新たに道路が通ることになり、ルート選定のため地元と協議します。 **＜他の地区について＞** 今後、コントロールポイント*を設定し、検討していきます。 ＊コントロールポイント：小学校、井水、ポケットパーク、蔵、古家などが考えられます。
道路の付属施設	**交通安全施設（柵等）** **照明** **植栽** **その他**	道幅にもよりますが、これまでの議論やアンケート結果を踏まえ、具体化に向けて引き続き協議していきます。
ポケットパーク		道幅や線形（ルート）によりますが、ポケットパークが設置できないか実施設計で検討していきます。
水路	**排水の改良**	実施設計の段階で検討していきます。
	親水空間	景観に配慮した親水空間を確保できないか今後検討していきます。
景観	**道路空間のデザイン** **歴史・まちなみ** **電線地中化**	歴史的まちなみ保存という概念から、整備にあたっては重要な課題であると考えています。景観法関連との整合も含め、彦根市の景観行政も交え検討していきます。
車の流れや交通規制等	**交通対策** **交通規制** **右折レーンの設置** **その他**	交通対策（車のスピードの抑制・大型車の交通量増大等）では道路の機能的に困難な事項もありますが、交通規制は警察と協議を行います。右折レーン、視距などについては実施設計の段階で検討していきます。
その他	**用地等** **環境** **住民説明等**	来年度の早い時期に、測量図面に道路幅員を提示し、道路の線形や幅員について引き続きワークショップや協議会で検討を行う予定です。

今後も具体化に向けて協議を進めていきますので、
沿道のみなさまのご協力をお願いします。

発行：滋賀県　湖東地域振興局　建設管理部　道路計画課
〒522-0071　滋賀県彦根市元町 4 番 1 号
TEL：0749-23-3511　　FAX：0749-23-3531
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ　http://www.pref.shiga.jp/h/h-doboku/2douro.html
Email：ha3405@pref.shiga.jp

～人・自然・地域との絆で
キラリと輝く湖東をめざして～
（湖東地域振興局のスローガン）